

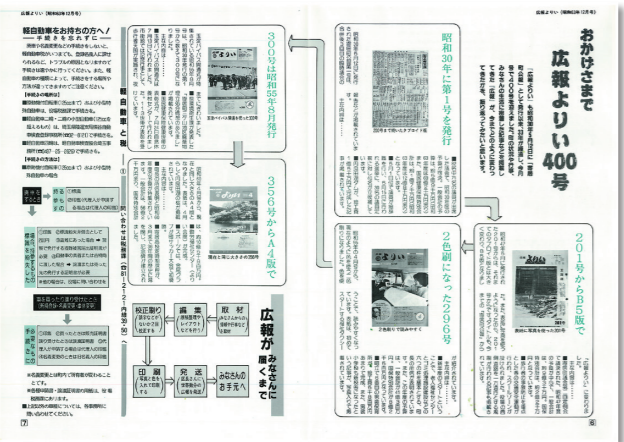
わたしの好きな **よりのい**

表紙・裏表紙がフルカラー印刷となった488号(平成8年4月発行)から「わたしの好きなよりのい」がスタート。「あなたの好きな風景や場所を、写真や絵などで教えてください」と募集し、知る人ぞ知る町の魅力を町民の方が自ら発信しました。



▲わたしの好きなよりのいNo.71

559号(平成14年3月発行)は酒井康雄さん(中町)の「わたしの好きなよりのい」。酒井さん撮影の氏邦桜とカタクリの競演が見事な一枚です。



▲おかげさまで400号

およそ34年前の広報よりのい400号(昭和63年12月発行)。33年間の町広報誌のあゆみを振り返りました。



Y'Lifeを冠した722号
平成27年10月1日発行の722号からは「Y'Life」を冠してリニューアル。表紙には写真を全面に配置するようになりました。また、平成28年5月1日発行の729号からは、特集やよりトピックスなどの一部記事をフルカラー印刷で掲載し、より親しまれる広報誌を目指しました。



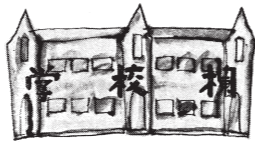
デザインを刷新
平成19年4月1日発行の620号からは、デザインを大きく刷新。行政インフォメーションやお知らせ版、よりトピックスなど、現在の広報よりのいとほぼ変わらない誌面構成となりました。表紙では、町の旬の話題を「よりのい百景」として写真と共に掲載しました。



表紙がフルカラーに
平成8年4月1日発行の488号からは、表紙と裏表紙のレイアウトを一新、フルカラー印刷となりました。親しまれる広報誌を目指し、大幅に内容が見直されています。



A4判になった356号
昭和60年4月10日発行の356号は、現在と同じ大きさのA4判になりました。表紙には、当時桜の名所として知られた円良田湖の春の風景が掲載されています。



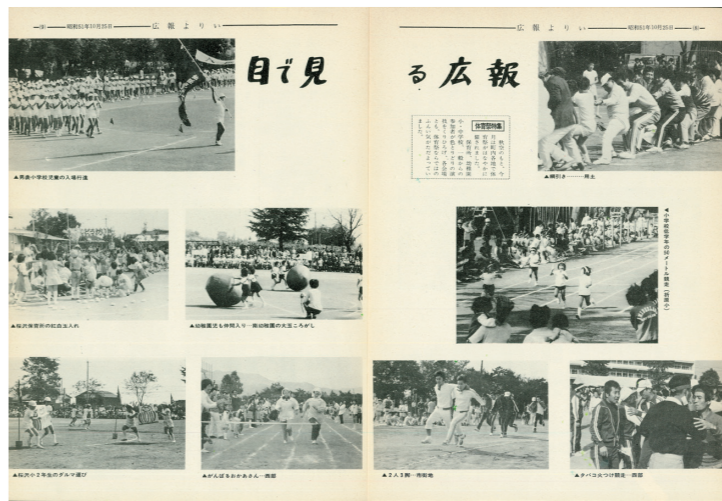
時代の流れの中で、町からのお知らせから、町民の方が参加し、生活に寄り添った内容へ徐々に広報誌の構成が変化していきます。

掲載される写真についても、小学校で遊ぶ子どもたちや祭り、体育祭に参加する町民の姿などを写し、より親しみのある広報誌となっていました。

町民参加の広報誌へ

第21号(昭和32年1月発行)からは学校欄が設けられ、小・中学生の作文、詩、俳句などの掲載が始まりました。作文には当時の家庭や学校の様子がつづられています。

目で見る
広報



▲目で見る広報(体育祭特集)

255号(昭和51年10月発行)の「目で見る広報」。当時の話題を写真中心にお知らせするこのコーナーでは、町内各地で行われた体育祭を2頁にわたり特集しています。町民の皆さんの熱気が伝わってくるようです。

制度をより分かりやすく

第5号(昭和30年9月発行)から、黒電話のイラストが目印の「相談室」というコーナーが始まりました。第14号(昭和31年6月発行)では「戸籍の謄本とは」という質問から始まり、制度の疑問に軟らかい文章で回答し、最後に「かいつまんで説明いたしました、だいたいおわかりでしょうか」と結んでいます。「今の制度はたいへん」と難しさを訴える声にも、制度を分かりやすく説明し、真摯に答えています。

相談室



▲新しい校舎で新入学児

236号(昭和50年4月発行)の表紙。昭和50年、改築後の寄居小学校校舎で入学式を迎えた児童たちです。カメラが気になる様子で視線を向ける児童も。